

表7 病院の病床の規模の変更状況

平成19(2007)年10月～平成20(2008)年9月

		病床数変更前の病床規模											総数	
		20～49床	50～99	100～149	150～199	200～299	300～399	400～499	500～599	600～699	700～799	800～899		900床以上
病床数変更後の病床規模	20～49床	44 減 28 増 16	9		1									54
	50～99	10	79 減 57 増 22	30	2									121
	100～149	1	14	69 減 46 増 23	20	4	1							109
	150～199	1	2	11	77 減 61 増 16	36	4							131
	200～299			2	11	80 減 59 増 21	16	2						111
	300～399				1	7	62 減 48 増 14	6						76
	400～499	1				1	6	47 減 38 増 9	11					66
	500～599						2	3	20 減 18 増 2	8				33
	600～699								1	15 減 10 増 5	1			17
	700～799									1	12 減 9 増 3	2		15
	800～899											5 減 3 増 2	2	7
900床以上												22 減 16 増 6	22	
総数		57	104	112	112	128	91	58	32	24	13	7	24	762 減 548 増 214

注: [] は、同規模内における変更(増減)施設数である。

表8 一般診療所の病床の規模の変更状況

平成19(2007)年10月～平成20(2008)年9月

		病床数変更前の病床規模			総数
		無床	1～9床	10～19床	
病床数変更後の病床規模	無床	・	491	335	826
	1～9床	52	90 減 78 増 12	77	219
	10～19床	55	25	156 減 98 増 58	236
総数		107	606	568	1 281 減 1 079 増 202

注: [] は、同規模内における変更(増減)施設数である。

(4) 診療科目別にみた施設数

1) 病院における標ぼうする診療科目別施設数

一般病院の施設数を診療科目別にみると、「内科」が7,089施設（一般病院総数の91.9%）と最も多く、次いで、「整形外科」5,085施設（同65.9%）、「外科」4,978施設（同64.5%）となっている。（表9）

（参考） 参考表1 診療科目別にみた一般病院数の年次推移

表9 病院の診療科目別にみた施設数（重複計上）

平成20(2008)年10月1日現在

	一般病院		精神科病院	
	施設数	施設数 に対する 割合 (%)	施設数	施設数 に対する 割合 (%)
総数	7 714	100.0	1 079	100.0
内科	7 089	91.9	636	58.9
呼吸器内科	2 436	31.6	6	0.6
循環器内科	3 621	46.9	19	1.8
消化器内科（胃腸内科）	3 490	45.2	21	1.9
腎臓内科	302	3.9	-	-
神経内科	2 088	27.1	222	20.6
糖尿病内科（代謝内科）	388	5.0	2	0.2
血液内科	153	2.0	-	-
皮膚科	3 008	39.0	32	3.0
アレルギー科	450	5.8	2	0.2
リウマチ科	1 056	13.7	4	0.4
感染症内科	51	0.7	-	-
小児科	2 905	37.7	27	2.5
精神科	1 539	20.0	1 079	100.0
心療内科	590	7.6	301	27.9
外科	4 978	64.5	16	1.5
呼吸器外科	665	8.6	-	-
心臓血管外科 ²⁾	893	11.6	-	-
乳腺外科	211	2.7	-	-
気管食道外科	94	1.2	-	-
消化器外科（胃腸外科）	880	11.4	1	0.1
泌尿器科	2 794	36.2	5	0.5
肛門外科	1 186	15.4	1	0.1
脳神経外科	2 472	32.0	4	0.4
整形外科	5 085	65.9	9	0.8
形成外科	1 090	14.1	-	-
美容外科	108	1.4	-	-
眼科	2 498	32.4	3	0.3
耳鼻いんこう科	2 035	26.4	4	0.4
小児外科	330	4.3	-	-
産婦人科	1 319	17.1	-	-
産科	177	2.3	-	-
婦人科	743	9.6	3	0.3
リハビリテーション科	4 954	64.2	46	4.3
放射線科	3 350	43.4	24	2.2
麻酔科	2 518	32.6	7	0.6
病理診断科	168	2.2	-	-
臨床検査科	93	1.2	-	-
救急科	186	2.4	-	-
歯科	1 106	14.3	194	18.0
矯正歯科	131	1.7	4	0.4
小児歯科	124	1.6	2	0.2
歯科口腔外科	802	10.4	5	0.5

注: 1)平成20年4月1日医療法施行令の一部改正により、診療科目については、従来、省令に具体的名称を限定列挙して規定していた方式から、身体の部位や患者の疾患等、一定の性質を有する名称を診療科目とする方式に改められた。

2)心臓血管外科には循環器外科を含む。

2) 診療所における標ぼうする診療科目別施設数

一般診療所の施設数を診療科目別にみると、「内科」が63,083施設（一般診療所総数の63.7%）と最も多く、次いで、「小児科」22,503施設（同22.7%）、「消化器内科（胃腸内科）」19,108施設（同19.3%）となっている（表10）。

（参考） 参考表2 診療科目別にみた一般診療所数・歯科診療所数の年次推移

表10 診療所の診療科目別にみた施設数（重複計上）

平成20(2008)年10月1日現在

	一般診療所			歯科診療所	
	施設数	施設数 に対する 割合 (%)		施設数	施設数 に対する 割合 (%)
総数	99 083	100.0	総数	67 779	100.0
内科	63 083	63.7	歯科	66 437	98.0
呼吸器内科	7 779	7.9	矯正歯科	21 231	31.3
循環器内科	12 963	13.1	小児歯科	38 682	57.1
消化器内科（胃腸内科）	19 108	19.3	歯科口腔外科	19 770	29.2
腎臓内科	873	0.9			
神経内科	3 385	3.4			
糖尿病内科（代謝内科）	1 908	1.9			
血液内科	314	0.3			
皮膚科	12 436	12.6			
アレルギー科	6 300	6.4			
リウマチ科	4 044	4.1			
感染症内科	502	0.5			
小児科	22 503	22.7			
精神科	5 629	5.7			
心療内科	3 775	3.8			
外科	15 289	15.4			
呼吸器外科	145	0.1			
心臓血管外科 ²⁾	323	0.3			
乳腺外科	364	0.4			
気管食道外科	765	0.8			
消化器外科（胃腸外科）	1 502	1.5			
泌尿器科	3 885	3.9			
肛門外科	3 541	3.6			
脳神経外科	1 562	1.6			
整形外科	12 929	13.0			
形成外科	1 858	1.9			
美容外科	983	1.0			
眼科	8 403	8.5			
耳鼻いんこう科	5 883	5.9			
小児外科	333	0.3			
産婦人科	3 555	3.6			
産科	400	0.4			
婦人科	2 129	2.1			
リハビリテーション科	12 566	12.7			
放射線科	4 970	5.0			
麻酔科	2 271	2.3			
病理診断科	27	0.0			
臨床検査科	42	0.0			
救急科	30	0.0			
歯科	1 594	1.6			
矯正歯科	123	0.1			
小児歯科	171	0.2			
歯科口腔外科	168	0.2			

注:1)平成20年4月1日医療法施行令の一部改正により、診療科目については、従来、省令に具体的名称を限定列挙して規定していた方式から、身体の一部や患者の疾患等、一定の性質を有する名称を診療科目とする方式に改められた。

2)心臓血管外科には循環器外科を含む。

3) 小児科、産婦人科、産科を標ぼうする施設数

一般病院において「小児科」を標ぼうする施設は2,905施設（一般病院総数の37.7%）、「産婦人科」は1,319施設（同17.1%）、「産科」は177施設（同2.3%）となっている。一般診療所において「小児科」を標ぼうする施設は22,503施設（一般診療所総数の22.7%）、「産婦人科」は3,555施設（同3.6%）、「産科」は400施設（同0.4%）となっている。これを年次推移でみると、病院、一般診療所ともに減少している。（表11、図3、図4）

表11 小児科、産婦人科、産科を標ぼうする施設数

平成20(2008)年10月1日現在

	小児科を標ぼうする施設				産婦人科、産科を標ぼうする施設							
	一般病院		一般診療所		一般病院				一般診療所			
	小児科施設数	割合(%)	小児科施設数	割合(%)	産婦人科施設数	割合(%)	産科施設数	割合(%)	産婦人科施設数	割合(%)	産科施設数	割合(%)
平成20年 (2008)	2 905	37.7	22 503	22.7	1 319	17.1	177	2.3	3 555	3.6	400	0.4

(参考) 小児科、産婦人科、産科を標ぼうする施設数の年次推移

各年10月1日現在

	小児科を標ぼうする施設				産婦人科、産科を標ぼうする施設							
	一般病院		一般診療所		一般病院				一般診療所			
	小児科施設数	割合(%)	小児科施設数	割合(%)	産婦人科施設数	割合(%)	産科施設数	割合(%)	産婦人科施設数	割合(%)	産科施設数	割合(%)
平成2年 (1990)	4 119	45.7	27 747	34.3	2 189	24.3	270	3.0	5 388	6.7	604	0.7
3 ('91)	4 090	45.5	2 163	24.1	270	3.0
4 ('92)	4 021	45.3	2 117	23.8	285	3.2
5 ('93)	4 025	46.0	27 370	32.5	2 121	24.2	218	2.5	4 869	5.8	640	0.8
6 ('94)	3 938	45.6	2 061	23.9	220	2.5
7 ('95)	3 866	45.4	2 011	23.6	210	2.5
8 ('96)	3 844	45.6	27 095	30.8	1 996	23.7	152	1.8	4 225	4.8	929	1.1
9 ('97)	3 768	45.1	1 913	22.9	168	2.0
10 ('98)	3 720	45.0	1 832	22.2	200	2.4
11 ('99)	3 528	42.9	26 788	29.3	1 681	20.4	203	2.5	4 096	4.5	849	0.9
12 (2000)	3 474	42.3	1 625	19.8	212	2.6
13 ('01)	3 433	42.0	1 590	19.5	213	2.6
14 ('02)	3 359	41.4	25 862	27.3	1 553	19.1	197	2.4	3 878	4.1	770	0.8
15 ('03)	3 284	40.8	1 524	18.9	191	2.4
16 ('04)	3 231	40.4	1 469	18.4	197	2.5
17 ('05)	3 154	39.7	25 318	26.0	1 423	17.9	193	2.4	3 622	3.7	759	0.8
18 ('06)	3 075	39.1	1 383	17.6	193	2.5
19 ('07)	3 015	38.7	1 344	17.3	195	2.5

注:1)平成2年～平成7年の一般病院には、ハンセン病療養所は含まない。
2)一般診療所の数値は静態調査年のみ把握している。
3)年次推移については、利用上の注意(3頁)を参照。

図3 小児科を標ぼうする一般病院数の年次推移

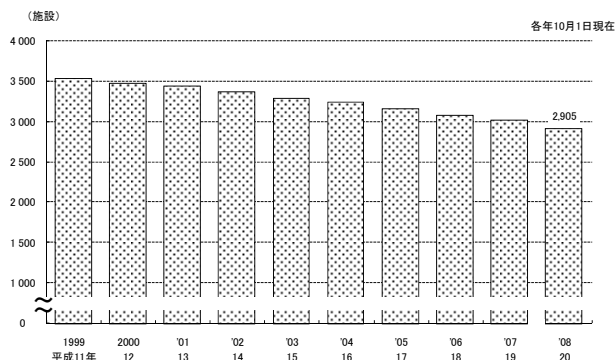
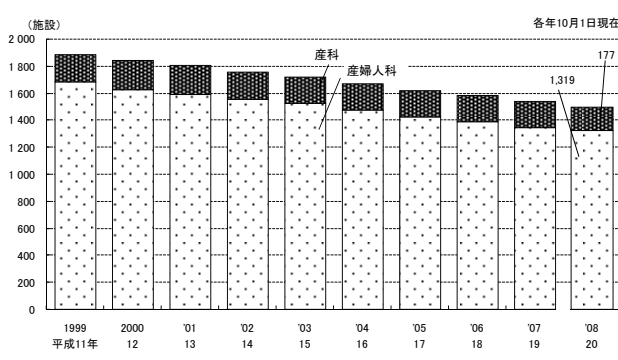


図4 産婦人科、産科を標ぼうする一般病院数の年次推移



2 病床数

(1) 病床の種類別にみた病床数

医療施設の病床数をみると、全病床数は1,756,115床で、前年に比べ19,366床減少している。

病院は1,609,403床で、前年に比べ10,770床減少しており、一般診療所は146,568床で、前年に比べ8,575床減少している。歯科診療所は144床で、前年に比べ21床減少している。

病院の病床を病床の種類別にみると、「一般病床」は909,437床（病院の全病床数の56.5%）で、前年に比べ3,797床減少、「精神病床」は349,321床（同21.7%）で1,867床減少、「療養病床」は339,358床（同21.1%）で4,042床減少している。

一般診療所の「療養病床」は17,519床で、前年に比べ1,474床減少している。（表12）

病院の病床数を年次推移でみると、平成4年（1,686,696床）をピークに年々減少している（図5）。

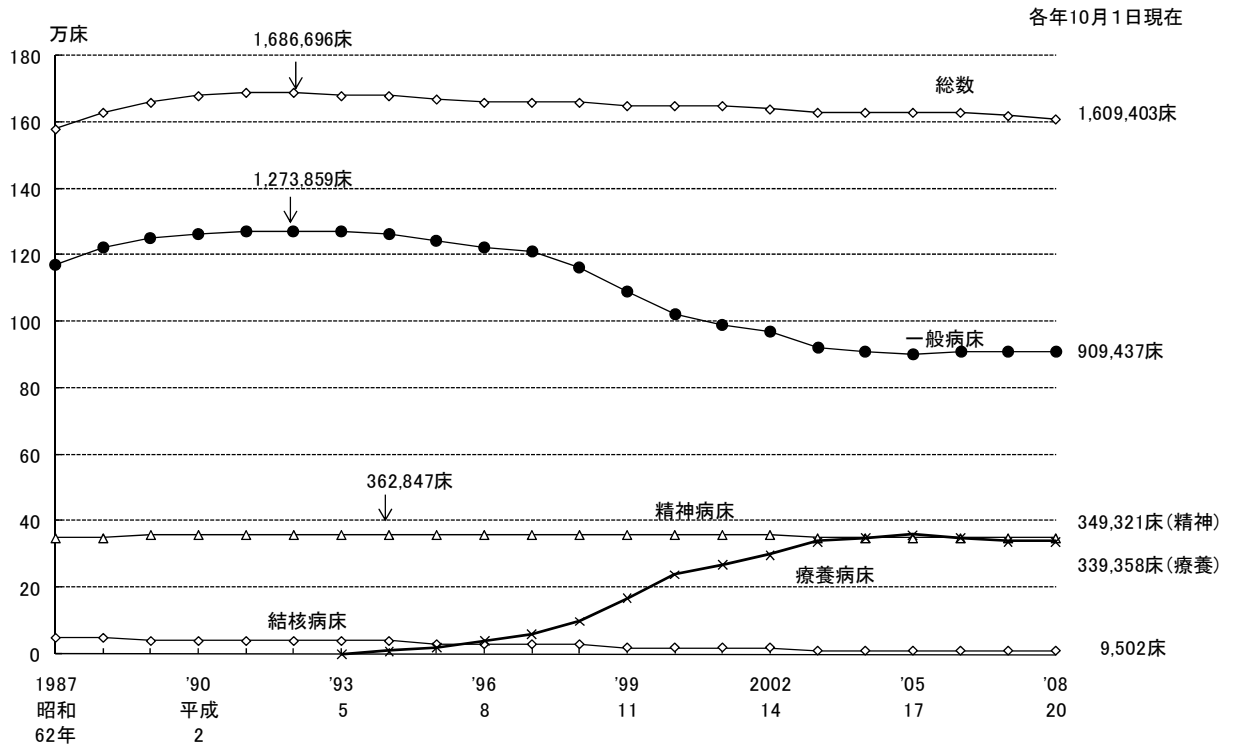
（参考） 統計表1 施設の種類別にみた施設数・病床数及び人口10万対施設数・病床数の年次推移

表12 病床の種類別にみた病床数

各年10月1日現在

	病床数		対前年		構成割合(%)	
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	増減数	増減率 (%)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)
総数	1 756 115	1 775 481	△ 19 366	△ 1.1
病院	1 609 403	1 620 173	△ 10 770	△ 0.7	100.0	100.0
精神病床	349 321	351 188	△ 1 867	△ 0.5	21.7	21.7
精神科病院	258 514	258 748	△ 234	△ 0.1	16.1	16.0
一般病院	90 807	92 440	△ 1 633	△ 1.8	5.6	5.7
感染症病床	1 785	1 809	△ 24	△ 1.3	0.1	0.1
結核病床	9 502	10 542	△ 1 040	△ 9.9	0.6	0.7
結核療養所	93	93	-	-	0.0	0.0
一般病院	9 409	10 449	△ 1 040	△ 10.0	0.6	0.6
療養病床 (A)	339 358	343 400	△ 4 042	△ 1.2	21.1	21.2
一般病床	909 437	913 234	△ 3 797	△ 0.4	56.5	56.4
一般診療所	146 568	155 143	△ 8 575	△ 5.5	100.0	100.0
(再掲) 療養病床 (B)	17 519	18 993	△ 1 474	△ 7.8	12.0	12.2
歯科診療所	144	165	△ 21	△ 12.7
療養病床総数 (A)+(B)	356 877	362 393	△ 5 516	△ 1.5

図5 病床の種類別にみた病院病床数の年次推移



注：1) 「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」であり、平成5年～平成12年は「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたものであり、平成13・14年は「一般病床」及び「経過的古その他の病床（経過的古療養型病床群を除く。）」である。
 2) 「療養病床」は、平成12年までは「療養型病床群」であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的古療養型病床群」である。

(2) 開設者別にみた病床数

病床数を開設者別にみると、「医療法人」が病院では851,188床（病院の全病床数の52.9%）、一般診療所では93,342床（有床の一般診療所の全病床数の63.7%）と最も多くなっている（表13）。

（参考）統計表2 開設者別にみた病院数及び病院病床数の年次推移
 統計表5 開設者・病床の種類別にみた病床数

表13 開設者別にみた病床数

各年10月1日現在

	病床数		対前年		構成割合 (%)		1施設 当たり 病床数
	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	増減数	増減率 (%)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	
病院	1 609 403	1 620 173	△ 10 770	△ 0.7	100.0	100.0	183.0
国	119 962	123 208	△ 3 246	△ 2.6	7.5	7.6	434.6
公的医療機関	343 604	338 200	△ 5 404	1.6	21.3	20.9	260.3
社会保険関係団体	35 857	36 357	△ 500	△ 1.4	2.2	2.2	293.9
医療法人	851 188	847 587	3 601	0.4	52.9	52.3	148.6
個人	43 708	49 061	△ 5 353	△ 10.9	2.7	3.0	91.8
その他	215 084	225 760	△ 10 676	△ 4.7	13.4	13.9	246.7
一般診療所	146 568	155 143	△ 8 575	△ 5.5	100.0	100.0	12.7
国	2 266	2 301	△ 35	△ 1.5	1.5	1.5	10.0
公的医療機関	2 899	2 931	△ 32	△ 1.1	2.0	1.9	12.4
社会保険関係団体	30	42	△ 12	△ 28.6	0.0	0.0	6.0
医療法人	93 342	95 470	△ 2 128	△ 2.2	63.7	61.5	14.0
個人	46 428	52 673	△ 6 245	△ 11.9	31.7	34.0	11.0
その他	1 603	1 726	△ 123	△ 7.1	1.1	1.1	12.8

注：1) 平成19年の「その他」には、地方独立行政法人が含まれており、平成20年は「公的医療機関」に計上した。
 2) 一般診療所の「1施設当たり病床数」は、有床診療所に対する数値である。

(3) 都道府県別にみた人口10万対病院病床数

人口10万対病院病床数をみると、「全病床」は1,260.4床で、前年(1,268.0床)に比べ7.6床減少している。病床の種類別では、「精神病床」273.6床、「療養病床」265.8床、「一般病床」712.2床となっている。

都道府県別にみると、「全病床」は高知県(2,477.9床)、「精神病床」は鹿児島県(580.3床)、「療養病床」は高知県(933.4床)、「一般病床」は高知県(1,024.2床)が最も多くなっている。

また、それぞれ最も多い県と最も少ない県の比をみると、「全病床」は3.0倍、「精神病床」は3.7倍、「療養病床」は6.6倍、「一般病床」は2.1倍となっている。(図6、表14)

(参考) 統計表1 施設の種類の別みた施設数・病床数及び人口10万対施設数・病床数の年次推移
 統計表8 都道府県-18大都市・中核市(再掲)別にみた病床数及び人口10万対病床数

図6 都道府県別にみた人口10万対病院病床数

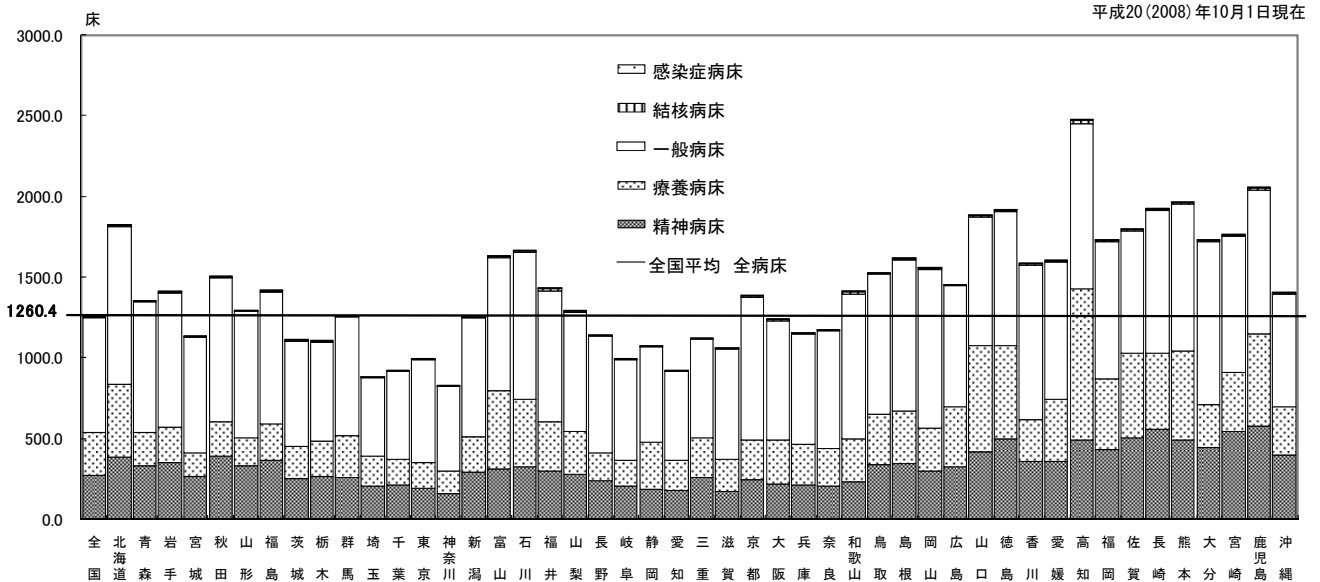


表14 人口10万対病院病床数

平成20(2008)年10月1日現在

	全病床		精神病床		感染症病床		結核病床		療養病床		一般病床	
全 国	1 260.4		273.6		1.4		7.4		265.8		712.2	
多 い 県	高 知	2 477.9	鹿児島	580.3	島 根	4.7	高 知	23.8	高 知	933.4	高 知	1 024.2
	鹿児島	2 058.1	長 崎	559.9	大 分	3.7	和歌山	16.4	山 口	658.5	大 分	1 009.8
	熊 本	1 967.4	宮 崎	547.6	山 梨	3.2	岡 山	14.4	徳 島	575.2	岡 山	981.1
	長 崎	1 930.0	佐 賀	507.8	岩 手	3.0	福 井	14.3	鹿児島	566.5	北海道	978.9
	徳 島	1 920.9	徳 島	501.0	山 口	2.7	長 崎	14.0	熊 本	548.1	香 川	955.5
：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：	
少 な い 県	岐 阜	997.6	東 京	191.5	愛 知	0.9	千 葉	4.1	岐 阜	164.8	静 岡	586.4
	愛 知	922.8	静 岡	187.1	奈 良	0.9	群 馬	3.9	東 京	158.7	愛 知	551.3
	千 葉	922.7	愛 知	179.3	神奈川	0.8	神奈川	3.7	千 葉	156.9	千 葉	547.2
	埼 玉	885.5	滋 賀	171.4	千 葉	0.8	三 重	3.2	神奈川	142.6	神奈川	527.5
	神奈川	832.2	神奈川	157.6	埼 玉	0.4	埼 玉	3.1	宮 城	141.4	埼 玉	489.1
(最大/最小)	3.0		3.7		11.8		7.7		6.6		2.1	

3 診療等の状況

(1) 救急医療の状況

救急告示の状況を見ると、「救急告示有り」の病院は3,932施設（病院総数の44.7%）、一般診療所は418施設（一般診療所総数の0.4%）となっている（表15）。

病院の「救急医療体制有り」は4,230施設（病院総数の48.1%）、「初期救急医療体制」は963施設（同11.0%）、「入院を要する救急医療体制」は3,053施設（同34.7%）、「救命救急センター」は214施設（同2.4%）となっている（図7）。一般診療所の「在宅当番医制有り」は18,892施設（一般診療所総数の19.1%）となっている（表16）。

「精神科救急医療体制有り」は病院で915施設（病院総数の10.4%）となっている（表17）。

病院の夜間（深夜も含む）救急対応が「ほぼ毎日可能」は、「内科」で53.2%、「外科」で41.2%となっている（図8）。

表15 救急告示の状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数	構成割合(%)
病院	8 794	100.0
救急告示有り	3 932	44.7
救急告示無し	4 862	55.3
一般診療所	99 083	100.0
救急告示有り	418	0.4
救急告示無し	98 665	99.6

図7 病院の救急医療体制の状況

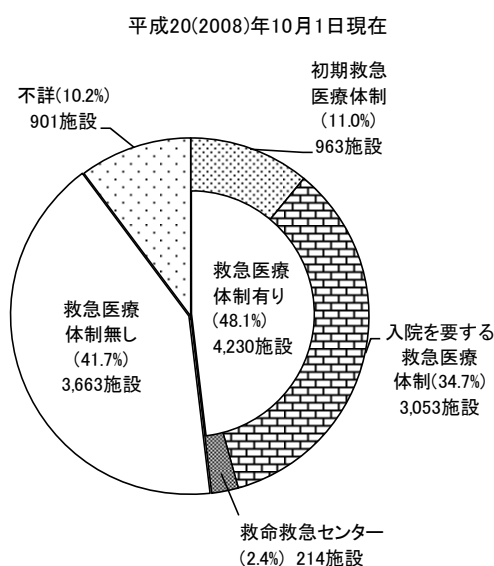


表16 一般診療所の在宅当番医制と休日夜間急患センターの状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数	
	施設数	施設数に対する割合(%)
総数	99 083	100.0
在宅当番医制有り	18 892	19.1
在宅当番医制無し	80 191	80.9
休日夜間急患センター	434	0.4

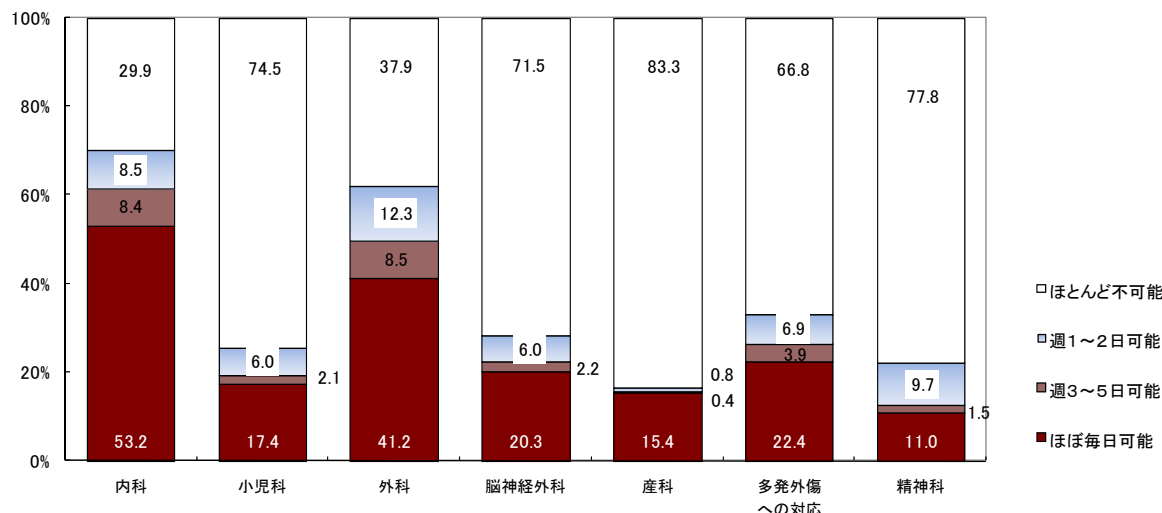
表17 精神科救急医療体制の状況

平成20(2008)年10月1日現在

	施設数		構成割合(%)	
	病院	一般診療所	病院	一般診療所
総数	8 794	99 083	100.0	100.0
精神科救急医療体制有り	915	141	10.4	0.1
精神科救急医療体制無し	7 879	98 942	89.6	99.9

図8 病院の夜間（深夜も含む）救急対応の状況

平成20(2008)年10月1日現在



注：「不詳」を除いた全病院数に対する構成割合である。

(2) 医療安全体制の状況

病院の医療安全に関する体制の責任者の状況をみると、「医師」を責任者とする施設が、「医療安全体制(全般)」で7,245施設(病院総数の82.4%)、「院内感染防止対策」で6,973施設(同79.3%)、「医療機器安全管理」で3,258施設(同37.0%)と最も多く、「医薬品安全管理」は「薬剤師」を責任者とする施設が6,729施設(同76.5%)と最も多くなっている(表18)。

責任者の専任・兼務の状況をみると、「医療安全体制(全般)」と「院内感染防止対策」では兼務が、「医療機器安全管理」と「医薬品安全管理」では、専任の割合が多くなっている(表19)。

表18 医療安全に関する体制の責任者の状況

		平成20(2008)年10月1日現在									
		総数	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	診療放射線技師	臨床検査技師	臨床工学技士	その他	配置していない
施設数	医療安全体制(全般)	8 794	7 245	27	95	1 174	34	24	13	81	101
	院内感染防止対策	8 794	6 973	23	152	1 165	4	337	4	11	125
	医療機器安全管理	8 794	3 258	26	171	1 905	1 226	503	1 477	-	-
	医薬品安全管理	8 794	1 748	35	6 729	111	-	-	-	-	-
構成割合 (%)	医療安全体制(全般)	100.0	82.4	0.3	1.1	13.4	0.4	0.3	0.1	0.9	1.1
	院内感染防止対策	100.0	79.3	0.3	1.7	13.2	0.0	3.8	0.0	0.1	1.4
	医療機器安全管理	100.0	37.0	0.3	1.9	21.7	13.9	5.7	16.8	-	-
	医薬品安全管理	100.0	19.9	0.4	76.5	1.3	-	-	-	-	-

注：総数には無回答を含む。

表19 医療安全に関する体制の責任者の専任・兼務の状況

		平成20(2008)年10月1日現在				
		総数	専任	兼務	医療機器と医薬品安全管理責任者を兼務(再掲)	
施設数	医療安全体制(全般)	8 794	2 989	5 464	-	
	院内感染防止対策	8 794	2 787	5 638	-	
	医療機器安全管理	8 794	5 078	3 177	} 839	
	医薬品安全管理	8 794	6 463	1 815		
構成割合 (%)	医療安全体制(全般)	100.0	34.0	62.1	-	
	院内感染防止対策	100.0	31.7	64.1	-	
	医療機器安全管理	100.0	57.7	36.1	} 9.5	
	医薬品安全管理	100.0	73.5	20.6		

注：総数には無回答を含む。

(3) 検査等の実施状況

平成20年9月中の検査等の実施状況を施設数でみると、一般病院では「3 上部消化管内視鏡検査」が5,439施設（病院総数の70.5%）と最も多く、次いで「1 骨塩定量測定」4,728施設（同61.3%）、「4 大腸内視鏡検査」4,421施設（同57.3%）となっている。

一般診療所では「1 骨塩定量測定」が19,244施設（一般診療所総数の19.4%）、「3 上部消化管内視鏡検査」が16,533施設（同16.7%）となっている。

一般病院の実施1施設当たり患者数をみると、「13 マルチスライスCT」が最も多くなっている。（表20）

表20 検査等の実施状況（複数回答）

平成20(2008)年9月中

		施設数	施設数に対する割合 (%)	患者数	実施1施設当たり患者数
一 般 病 院		7 714	100.0
1	骨 塩 定 量 測 定	4 728	61.3	128 172	27.1
2	気 管 支 内 視 鏡 検 査	1 542	20.0	15 932	10.3
3	上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	5 439	70.5	526 604	96.8
4	大 腸 内 視 鏡 検 査	4 421	57.3	203 185	46.0
5	血 管 連 続 撮 影	1 836	23.8	90 388	49.2
6	D S A (再掲)	1 539	20.0	33 990	22.1
7	循 環 器 D R (再掲)	1 128	14.6	52 173	46.3
8	マ ン モ グ ラ フ ィ ー	2 527	32.8	190 948	75.6
9	R I 検 査 (シンチグラム)	1 183	15.3	98 074	82.9
10	S P E C T (再掲)	1 062	13.8	44 379	41.8
11	P E T	109	1.4	4 639	42.6
12	P E T C T	160	2.1	21 086	131.8
13	マ ル チ ス ラ イ ス C T	3 866	50.1	1 699 351	439.6
14	そ の 他 の C T	2 825	36.6	277 227	98.1
15	M R I 1.5テスラ以上	1 983	25.7	668 428	337.1
16	M R I 1.5テスラ未満	1 567	20.3	174 693	111.5
17	3 D 画 像 処 理	1 684	21.8	154 823	91.9
18	冠動脈CT・心臓MRI(再掲)	871	11.3	21 196	24.3
一 般 診 療 所		99 083	100.0
1	骨 塩 定 量 測 定	19 244	19.4	300 832	15.6
2	気 管 支 内 視 鏡 検 査	213	0.2	1 760	8.3
3	上 部 消 化 管 内 視 鏡 検 査	16 533	16.7	378 195	22.9
4	大 腸 内 視 鏡 検 査	6 559	6.6	99 046	15.1
5	血 管 連 続 撮 影	138	0.1	2 448	17.7
6	D S A (再掲)	74	0.1	482	6.5
7	循 環 器 D R (再掲)	23	0.0	1 306	56.8
8	マ ン モ グ ラ フ ィ ー	1 115	1.1	188 528	169.1
9	R I 検 査 (シンチグラム)	23	0.0	815	35.4
10	S P E C T (再掲)	11	0.0	225	20.5
11	P E T	27	0.0	2 654	98.3
12	P E T C T	47	0.0	8 526	181.4
13	マ ル チ ス ラ イ ス C T	1 507	1.5	124 182	82.4
14	そ の 他 の C T	3 380	3.4	127 958	37.9
15	M R I 1.5テスラ以上	379	0.4	84 997	224.3
16	M R I 1.5テスラ未満	1 158	1.2	145 233	125.4
17	3 D 画 像 処 理	609	0.6	51 498	84.6
18	冠動脈CT・心臓MRI(再掲)	60	0.1	1 767	29.5

(4) 設備等の状況

1) 医療機器の設置状況

医療施設の医療機器の設置状況をみると、人口100万対設置台数は、「マンモグラフィー」29.7台、「マルチスライスCT」46.7台となっている（表21）。

表21 医療機器の設置状況

平成20(2008)年10月1日現在

		マンモグラフィー	RI検査 (シンチグラム)	SPECT	PET	PET CT	マルチ スライスCT	その他の CT	MRI 1.5テスラ 以上	MRI 1.5テスラ 未満
設置台数	総 数	3 792	1 577	1 337	199	267	5 960	6 040	2 811	2 641
	一般病院	2 548	1 552	1 326	162	194	4 450	2 671	2 401	1 484
	一般診療所	1 244	25	11	37	73	1 510	3 369	410	1 157
人口 100万対 設置台数	総 数	29.7	12.4	10.5	1.6	2.1	46.7	47.3	22.0	20.7
	一般病院	20.0	12.2	10.4	1.3	1.5	34.8	20.9	18.8	11.6
	一般診療所	9.7	0.2	0.1	0.3	0.6	11.8	26.4	3.2	9.1

2) 特殊診療設備の保有状況

病院の特殊診療設備の保有状況をみると、調査対象とした設備の中では、「10 外来化学療法室」1,376施設（病院総数の15.6%）、「1 特定集中治療室（ICU）」806施設（同9.2%）、「8 無菌治療室（手術室は除く）」401施設（同4.6%）が多くなっている。一方、「6 広範囲熱傷特定集中治療室」は26施設（同0.3%）、「7 小児集中治療室（PICU）」は22施設（同0.3%）と少なくなっている。（表22）

表22 病院の特殊診療設備の保有状況（複数回答）

平成20(2008)年10月1日現在

		施設数	施設数に対する 割合 (%)	病床数
病 院		8 794	100.0	...
1	特 定 集 中 治 療 室 (ICU)	806	9.2	6 087
2	脳 卒 中 集 中 治 療 室 (SCU)	74	0.8	498
3	心 臓 内 科 系 集 中 治 療 室 (CCU)	222	2.5	1 269
4	新 生 児 特 定 集 中 治 療 室 (NICU)	265	3.0	2 310
5	母 体 ・ 胎 児 集 中 治 療 室 (MFICU)	77	0.9	512
6	広 範 囲 熱 傷 特 定 集 中 治 療 室	26	0.3	59
7	小 児 集 中 治 療 室 (PICU)	22	0.3	145
8	無 菌 治 療 室 (手 術 室 は 除 く)	401	4.6	2 622
9	放 射 線 治 療 病 室	86	1.0	228
10	外 来 化 学 療 法 室	1 376	15.6	8 775

(5) 手術等の実施状況

1) 手術等の実施状況

平成20年9月中の手術等の状況をみると、一般病院では「1 全身麻酔（静脈麻酔は除く）」3,652施設（一般病院総数の47.3%）、「2 内視鏡下消化管手術」2,803施設（同36.3%）が多くなっている。一般診療所では、「2 内視鏡下消化管手術」1,886施設（一般診療所総数の1.9%）、「11 人工透析」1,832施設（同1.8%）が多くなっている。「3 悪性腫瘍手術」を実施した一般病院を部位別にみると、「10 大腸がん」1,979施設（一般病院総数の25.7%）、「6 胃がん」1,697施設（同22.0%）、「13 乳がん」1,266施設（同16.4%）が多くなっている。（表23）

表23 手術等の実施状況

		平成20(2008)年9月中			
		施設数	施設数に対する割合(%)	実施件数	実施1施設当たり実施件数
一 般 病 院		7 714	100.0
1	全身麻酔（静脈麻酔は除く）	3 652	47.3	187 097	51.2
2	内視鏡下消化管手術	2 803	36.3	56 317	20.1
3	悪性腫瘍手術	2 522	32.7	44 010	17.5
4	食道がん（再掲）	339	4.4	863	2.5
5	肺がん（再掲）	700	9.1	3 215	4.6
6	胃がん（再掲）	1 697	22.0	7 038	4.1
7	肝臓がん（再掲）	751	9.7	3 013	4.0
8	胆嚢がん（再掲）	334	4.3	578	1.7
9	膵臓がん（再掲）	449	5.8	841	1.9
10	大腸がん（再掲）	1 979	25.7	9 157	4.6
11	腎がん（再掲）	599	7.8	1 356	2.3
12	前立腺がん（再掲）	675	8.8	1 805	2.7
13	乳がん（再掲）	1 266	16.4	5 570	4.4
14	子宮がん（再掲）	595	7.7	2 503	4.2
15	人工透析	2 336	30.3	1 515 397	648.7
16	分娩（正常分娩を含む）	1 126	14.6	47 626	42.3
17	帝王切開娩出術（再掲）	1 056	13.7	11 089	10.5
一 般 診 療 所		99 083	100.0
1	全身麻酔（静脈麻酔は除く）	867	0.9	6 632	7.6
2	内視鏡下消化管手術	1 886	1.9	16 006	8.5
3	悪性腫瘍手術	305	0.3	1 142	3.7
4	胃がん（再掲）	45	0.0	64	1.4
5	胆嚢がん（再掲）	2	0.0	2	1.0
6	大腸がん（再掲）	143	0.1	294	2.1
7	前立腺がん（再掲）	20	0.0	43	2.2
8	乳がん（再掲）	52	0.1	363	7.0
9	子宮がん（再掲）	10	0.0	27	2.7
10	外来化学療法	612	0.6	7 043	11.5
11	人工透析	1 832	1.8	1 495 240	816.2
12	分娩（正常分娩を含む）	1 441	1.5	42 792	29.7
13	帝王切開娩出術（再掲）	1 187	1.2	5 553	4.7
歯 科 診 療 所		67 779	100.0
1	歯周外科手術	29 440	43.4
2	骨折・顎骨腫瘍手術等	928	1.4
3	インプラント手術	14 580	21.5